

# 代表理事ご挨拶

この度 JET 代表理事を拝命しました  
東邦大学医療センター大橋病院の中村正人です。  
就任に際し、ご挨拶を申し上げます。

JET のルーツは、前代表理事横井良明先生が  
立ち上げられた 2003 年 JPIC にあります。  
当時、循環器内科でこの領域に積極的に関わろうと  
する医師は限られていましたが、JPIC はライブ  
デモンストレーションを通して学ぶ場を提供し、  
今日の礎となる大きな役割を果たしました。

2007 年には JET と名を変え、翌 2008 年 4 月新宿のヒルトンホテルで第 1 回大会が開催され  
ました。予想を大きく上回り 1000 名に近い方に参加いただき JET への期待を確信したことをよく  
覚えています。

そして、2012 年から JET は一般社団法人になりました。この間、アジア諸国から注目されるライブ  
デモンストレーションへと大きく成長し、コアラボ業務、産官学による連携業務、臨床研究支援など  
へと活動の範囲を拡大しました。このように、JET は横井代表理事のもと大きく成長しました。

今日、医療政策は大きく変わろうとしています。高齢化社会を迎えての医療費の問題、働き方改  
革などがその代表です。今後は、治療手技の標準化、適正化が強く求められることでしょう。その議  
論において、ライブデモンストレーションの役割はさらに大きくなり、教育性のある内容が強く求めら  
れることになるでしょう。

一方、新たな治療は実臨床における有効性、安全性の検証によって適応が拡大されることになる  
でしょう。しかし、新臨床研究法の制定により臨床研究へのハードルが高くなっており、新たな仕組  
みが求められています。2025 年に施行される働き方改革は、病院経営根幹からの見直しを迫るこ  
とになるでしょう。

このように、医療システムの変換が求められている時代であるからこそ、学会の枠を超えた産官学  
による平場での議論が求められることになると思います。その場を JET は提供します。これまで通  
り権威にとらわれない自由な発言や活動を可能とすることで、本邦の医療の向上に寄与していき  
たいと思っています。若手医師が積極的に活躍できるような組織、チャレンジ精神を失わないように  
柔軟な組織運営を目指してまいります。大海をさまようことなく、航路を決めていきたいと思いま  
すので、関係各位の方々には積極的な参画をお願いするとともに、針路が怪しいときには忌憚のない  
ご意見をお寄せください。



代表理事：中村 正人  
(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)